

## 【留意事項】

- (1) 運用容量値は、電圧や系統安定度などの制約により、変わる場合があります。備考欄をご参照願います。  
 ※1 1回線送電線(1バンク運用)のため1回線(1バンク)設備容量を記載  
 ※2 3回線送電線(3バンク運用)のため1回線(1バンク)故障時を考慮し2回線(2バンク)分の容量を記載
- (2) 空容量は目安であり、系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、空容量が変更となる場合があります。
- (3) 原則として熱容量に基づく空容量を記載しております。その他の要因(電圧や系統安定度など)で連系制約が発生する場合があります。
- (4) N-1電制適用可否欄には、熱容量制約の解消を目的とした当該設備へのN-1電制の適用可否の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可否が変更となる場合があります。適用不可の場合の理由は以下のとおりです。  
 #1 1回線送電線のため  
 #2 1バンク変電所(分割運用等含む)のため  
 #3 配電用変電所のため(高压電源の系統連系の場合、N-1電制は対象外となります。)  
 #4 安定度制約のため(制約が確認できているもの)
- (5) N-1電制適用可能量欄には、熱容量制約の解消のため当該設備にN-1電制を適用した場合の適用可能量(上位系考慮なし)の目安を記載しております。系統接続の前には、接続検討のお申込みによる詳細検討が必要となります。その結果、適用可能量が変更となる場合があります。なお、高压系統に接続される電源の場合、N-1電制は対象外となります。
- (6) 発電設備等が連系する変圧器によっては、別途バンク逆潮流対策が必要になる可能性があります。
- (7) 3年以内に増強した系統へ連系する場合は、空容量の範囲内であっても、増強工事費の一部を負担いただくことがあります。
- (8) 社会的に影響を与えることが懸念される重要施設への供給系統に関する情報や、電力供給契約が特定できるような第三者情報などについては、公開していません。
- (9) 個々の電源の運転状況や需要者の電力使用状況が推測可能な電源線や専用線等であり、設備容量、運用容量、N-1電制可否、N-1電制可能量を非公開とする設備は、備考欄に「◇」を記載しております。

送電線 No	送電線名	電圧 (kV)	回線数	設備容量 (100%×回線数)	運用容量値 (MW)	6/3 同じ場所での設置を検討中	空容量(MW)		N-1電制適用可否	N-1電制適用可能量 (MW)	備考
							当該設備	上位系等考慮			
2	北幌延線	100	2	136	68	熱容量	0	0	不可 #4	—	
3	宗谷1号線・2号線	100	2	160	80	熱容量	0	0	不可 #4	—	
5	稚内線	100	2	92	46	熱容量	0	0	不可 #4	—	
8	稚内線	100	2	92	46	熱容量	0	0	不可 #4	—	
9	稚内線	100	2	92	46	熱容量	0	0	不可 #4	—	
10	稚内支線	100	2	92	46	熱容量	44	0	不可 #4	—	
13	天塩線	33	1	9	9	熱容量	5	0	不可 #1	—	※1
15	遠別線	33	1	5	5	熱容量	0	0	不可 #1	—	※1
16	遠別線	33	1	5	5	熱容量	3	0	不可 #1	—	※1
17	遠別線	33	1	5	5	熱容量	5	0	不可 #1	—	※1
19	幌延線	33	1	11	11	熱容量	11	0	不可 #1	—	※1
20	幌延線	33	1	11	11	熱容量	11	0	不可 #1	—	※1
22	北進支線	33	1	—	—	熱容量	5	0	—	—	◇
23	幌延線	33	1	11	11	熱容量	6	0	不可 #1	—	※1
24	幌延線	33	1	11	11	熱容量	11	0	不可 #1	—	※1
26	曲淵線	33	1	5	5	熱容量	5	0	不可 #1	—	※1
28	幌延線	33	1	11	11	熱容量	11	0	不可 #1	—	※1
29	声問南支線	33	1	—	—	熱容量	15	0	—	—	◇
30	宗谷1号線・2号線	100	2	160	80	熱容量	80	0	不可 #4	—	
31	宗谷1号線・2号線	100	2	66	33	熱容量	39	0	可	33	
33	宗谷1号線・2号線	100	2	66	33	熱容量	38	0	可	33	
35	中川線	100	2	70	35	熱容量	40	0	可	35	
37	頓別線	66	1	23	23	熱容量	20	0	不可 #1	—	※1
39	頓別線	66	1	23	23	熱容量	20	0	不可 #1	—	※1
41	猿払線	33	1	5	5	熱容量	5	0	不可 #1	—	※1
43	浜頓別線	66	1	23	23	熱容量	19	0	不可 #1	—	※1
44	浜頓別線	66	1	23	23	熱容量	19	0	不可 #1	—	※1
45	枝幸線	66	1	23	23	熱容量	23	0	不可 #1	—	※1
47	枝幸線	66	1	23	23	熱容量	23	0	不可 #1	—	※1
49	宗谷1号線・2号線	100	2	140	70	熱容量	0	0	不可 #4	—	
51	宗谷1号線・2号線	100	2	118	59	熱容量	0	0	不可 #4	—	
53	岩尾内線	100	1	26	26	熱容量	2	0	不可 #1	—	※1
54	岩尾内線	100	1	27	27	熱容量	3	0	不可 #1	—	※1
55	奔天塩支線	100	1	—	—	熱容量	6	0	—	—	◇
56	上土別支線	100	1	17	17	熱容量	17	0	不可 #1	—	※1
58	雨竜線	66	2	60	30	熱容量	32	0	不可 #4	—	
59	雨竜線	66	2	62	31	熱容量	26	0	不可 #4	—	
60	雨竜線	66	2	50	25	熱容量	20	0	可	25	
61	雨竜線	66	2	—	—	熱容量	19	0	—	—	◇
62	他社支線	66	1	—	—	熱容量	10	0	—	—	◇
63	土別支線	66	2	46	23	熱容量	30	0	可	23	
65	剣淵支線	66	1	12	12	熱容量	12	0	不可 #1	—	※1
67	幌加内支線	66	2	22	11	熱容量	11	0	可	11	
69	薩の沢線	22	1	3	3	熱容量	3	0	不可 #1	—	※1
71	羽幌炭鉱線	66	1	22	22	熱容量	3	0	不可 #1	—	※1
73	温根別線	33	1	—	—	熱容量	5	0	—	—	◇
74	他社線	33	1	—	—	熱容量	5	0	—	—	◇
75	朱鞠内地中線	66	1	—	—	熱容量	10	0	—	—	◇
76	羽幌炭鉱線	66	1	18	18	熱容量	0	0	不可 #1	—	※1
78	苫前線	66	1	26	26	熱容量	8	0	不可 #1	—	※1
80	苫前線	66	1	—	—	熱容量	8	0	—	—	◇
81	苫前線	66	1	—	—	熱容量	26	0	—	—	◇
82	他社支線	66	1	—	—	熱容量	8	0	—	—	◇
83	下川線	100	2	36	18	熱容量	17	0	可	18	
85	滝の上線	22	1	6	6	熱容量	6	0	不可 #1	—	※1
87	滝の上線	22	1	3	3	熱容量	3	0	不可 #1	—	※1
88	美深線	22	1	5	5	熱容量	3	0	不可 #1	—	※1
89	美深線	22	1	5	5	熱容量	3	0	不可 #1	—	※1
91	仁宇布川線	22	1	—	—	熱容量	1	0	—	—	◇
93	智恵文支線	22	1	12	12	熱容量	12	0	不可 #1	—	※1

01西名寄系統空容量一覽表

変電所 No	変電所名	電圧 (kV)		台数	設備容量 (100%×台数)	運用容量値 (MW)	運用容量 制約要因	空容量(MW)		N-1電制適用 可否	N-1電制 適用可能量 (MW)	備考
		一次	二次					当該設備	上位系等考慮			
1	西名寄変電所	187	100	2	200	100	熱容量	0	0	不可 #4	—	
4	幌延変電所	100	33	1	30	30	熱容量	8	0	不可 #2	—	※1
		100	6.6	1	6	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	※1
7	声間変電所	100	6.6	1	15	15	熱容量	14	0	不可 #3	—	※1
11	稚内西変電所	100	33	1	15	15	熱容量	10	0	不可 #2	—	※1
		100	6.6	1	15	15	熱容量	15	0	不可 #3	—	※1
12	稚内変電所	100	6.6	2	30	15	熱容量	15	0	不可 #3	—	
14	天塩変電所	33	6.6	1	6	6	熱容量	7	0	不可 #3	—	※1
18	遠別変電所	33	6.6	1	6	6	熱容量	5	0	不可 #3	—	※1
21	豊富変電所	33	6.6	1	10	10	熱容量	10	0	不可 #3	—	※1
25	芦川変電所	33	6.6	1	3	3	熱容量	2	0	不可 #3	—	※1
27	曲淵変電所	33	6.6	1	3	3	熱容量	2	0	不可 #3	—	※1
32	咲来変電所	100	6.6	1	3	3	熱容量	3	0	不可 #3	—	※1
34	中川変電所	100	6.6	1	6	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	※1
36	小頓別変電所	100	6.6	1	30	30	熱容量	30	0	不可 #2	—	※1
		66	6.6	1	3	3	熱容量	3	0	不可 #3	—	※1
38	中頓別変電所	66	6.6	1	6	6	熱容量	5	0	不可 #3	—	※1
40	浜頓別変電所	66	33	1	10	10	熱容量	10	0	不可 #2	—	※1
		66	6.6	2	12	6	熱容量	5	0	不可 #3	—	
42	猿払変電所	33	6.6	1	6	6	熱容量	5	0	不可 #3	—	※1
46	歌登変電所	66	6.6	1	3	3	熱容量	3	0	不可 #3	—	※1
48	枝幸変電所	66	6.6	2	12	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	
		100	22	1	3	3	熱容量	1	0	不可 #2	—	※1
50	名寄変電所	100	6.6	3	35	20	熱容量	10	0	不可 #3	—	※2
		100	3.3	1	—	—	熱容量	5	0	—	—	◇
		100	6.6	2	64	32	熱容量	0	0	不可 #4	—	
52	雨竜変電所	66	6.6	1	1.2	1.2	熱容量	1	0	不可 #3	—	※1
		6.6	22	1	0.3	0.3	熱容量	0	0	不可 #2	—	※1
57	上士別変電所	100	6.6	1	6	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	
64	士別変電所	66	6.6	2	30	15	熱容量	15	0	不可 #3	—	
66	剣淵変電所	66	6.6	2	12	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	
68	幌加内変電所	66	6.6	1	3	3	熱容量	3	0	不可 #3	—	※1
70	藤の沢変電塔	22	6.6	1	0.3	0.3	熱容量	0	0	不可 #3	—	※1
72	朱鞠内変電所	66	33	1	6	6	熱容量	6	0	不可 #2	—	※1
		66	6.6	1	6	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	※1
77	羽幌変電所	66	6.6	2	12	6	熱容量	5	0	不可 #3	—	
79	苫前変電所	66	6.6	1	6	6	熱容量	3	0	不可 #3	—	※1
84	下川変電所	100	22	1	10	10	熱容量	10	0	不可 #2	—	※1
		100	6.6	1	6	6	熱容量	4	0	不可 #3	—	
86	上興部変電所	22	6.6	1	3	3	熱容量	2	0	不可 #3	—	※1
90	美深変電所	22	6.6	1	6	6	熱容量	6	0	不可 #3	—	※1
92	他社変電所	22	6.6	1	2.2	2.2	熱容量	2	0	不可 #3	—	※1
94	智恵文変電所	22	6.6	1	3	3	熱容量	3	0	不可 #3	—	※1